

科目名	知的障害者の生理・病理			担当教員	中島 俊彦
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2SSR103
期待される学修成果	教科教育 子ども理解				
アクティブ・ラーニングの要素	プレゼンテーション				
実務経験	医師（小児科）：中島俊彦、中塚晶博				
実務経験を生かした授業内容	医療専門職種としての臨床経験を生かして、実際に即した事例を提供し、知識の獲得にとどまらず、教育現場における対応力、実践力を高める。				
到達目標及びテーマ	知的障害・発達障害の生理・病理について、認知機能や脳の発達や変異という面から理解できる。 てんかんに対する正しい知識理解のもとに発作時の適切な対応力を身に付けるなど、実際のな力量を高めることができる。 知的障害、発達障害の診断基準などの基本的知識の理解ができる。 教育現場で起こりうる課題や問題などに対して、どのように対応するかを考えることができる。				
授業の概要	特別支援学校などで働く教員が知っておくべき医療的な基礎知識を身につけることを目指して、知的障害の発生要因、特性、健康上の問題、関連のある発達障害や関係者間連携について解説 1. 知的障害や発達障害などの定義、発生要因・分類について説明する。 2. 知的障害のある子どもが抱える健康上の問題を説明する。 3. 知的障害を合併する代表的疾患各々について、診断、治療を含め説明する。 4. 知的障害のある子ども及び家族を支援する多職種連携について概説する。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション、知的障害を理解するための生理学的基礎（１）－遺伝子と染色体－（中島俊彦）
第2回	知的障害を理解するための生理学的基礎（２）－人体の発生・脳の構造と機能－（中島俊彦）
第3回	知的障害の発生要因（１）－知的障害の危険因子－（中島俊彦）
第4回	知的障害児の発生要因（２）－遺伝子と染色体疾患－（中島俊彦）
第5回	知的障害児の発生要因（３）－代謝異常・脳発生異常－（中島俊彦）
第6回	知的障害児の感覚機能（中島俊彦）
第7回	知的障害児の運動機能（１）－運動に関わる基礎的事項・運動発達－（中島俊彦）
第8回	知的障害児の運動機能（２）－知的障害児の運動機能－（中島俊彦）
第9回	知的障害児と運動機能（３）－知的障害と肢体不自由、脳性麻痺、筋ジストロフィー（中塚晶博）
第10回	知的障害児と健康問題（１）－知的障害児の肥満、睡眠、食事・口腔機能－（中塚晶博）
第11回	知的障害児と健康問題（２）－てんかん－（中塚晶博）
第12回	知的障害とその周辺領域（１）－発達障害との関係－（中島俊彦）
第13回	知的障害とその周辺領域（２）－発達性協調運動障害（DCD）・聴覚情報処理障害（APD）－（中島俊彦）
第14回	教育、医療、家庭との連携（中島俊彦）
第15回	グループワークによるプレゼンテーション、全体の総括（中島俊彦）

事前学修	2時間	授業の前に、教科書（授業計画におおよそ該当する部分）を読んで理解しておくこと。 該当する部分がなければ、図書館やインターネットなどで概略を知っておくこと。
事後学修	2時間	授業内容を反芻し、自分の知識として身につけるよう復習すること。 グループワークで、授業内容や自己学習の内容を反映させながらメンバーと討論する。
フィードバックの方法	確認テストやレポートの事後指導により、知識の定着を図ると共に、討論を通して生きた学びが得られるようにする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	20%	グループワークのプレゼンテーション
上記以外の試験・平常点評価	30%	出欠を含む授業参加態度

レポート	50%	授業内容を踏まえたテーマ設定、レポート記述内容
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
知的障害児の心理・生理・病理: エビデンスに基づく特別支援教育のために	勝二 博亮 (著, 編集)	北大路書房	4762832391	中塚晶博・中島俊彦
参考資料				